

信州大学医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「AI 技術を用いた PD-L1 高発現非小細胞肺癌の腫瘍微小免疫環境の解析(HOT2503)」
に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、
研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6679
研究課題名	AI 技術を用いた PD-L1 高発現非小細胞肺癌の腫瘍微小免疫環境の解析(HOT2503)
所属(診療科等)	内科学第一教室
研究責任者(職名)	立石一成(特任講師)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029 年 12 月 31 日
研究の意義、目的	PD-L1 高発現(TPS-50%以上)未治療進行非小細胞肺癌に対して、ペムブロリズマブ単剤あるいはペムブロリズマブにプラチナ製剤を含む化学療法併用療法を受けた症例を対象に、人工知能を用いて治療効果を予測する因子を探査する。
対象となる方	2018 年 12 月 1 日～2020 年 1 月 31 日までに上記施設にて、PD-L1 高発現(TPS 50%以上)が確認された未治療進行非小細胞肺癌症例に対して、ペムブロリズマブ単剤もしくはペムブロリズマブにプラチナ製剤を含む化学療法併用のいずれかの治療を受けた患者さん
利用する診療記録／検体	検体：肺癌組織検体(信州大学医学部附属病院)にて将来の医学研究のためという目的で文書により同意を得て保管している検体) カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、病理結果等)、治療の状況、転帰
他機関への試料・情報の提供方法	郵送またはパスワードをかけた電子ファイルで送付します。 上記の検体は、解析のために北海道大学病院に郵送で送付します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、人工知能を用いて治療効果を予測する因子を探査します。
共同研究機関名	函館五稜郭病院 呼吸器内科(角 俊行) 帯広厚生病院 第一内科(高村 圭) 北海道がんセンター 呼吸器内科(大泉 聰史) 王子総合病院 呼吸器内科(河井 康孝) 北海道大学病院 呼吸器内科(畠中 豊) 旭川医療センター 呼吸器内科(藤田 結花) 市立札幌病院 呼吸器内科(本村 文宏) 北海道医療センター 呼吸器内科(岡本 佳裕) 手稲済仁会病院 呼吸器内科(横尾 廉紀) KKR 札幌医療センター 呼吸器科・腫瘍内科(小島 哲弥) JCHO 北海道病院 呼吸器センター/呼吸器内科(原田 敏之) 名寄市立総合病院 呼吸器内科(満 紀之)

	岩見沢市立総合病院 内科(上村 明) 秋田厚生医療センター 呼吸器内科(守田 亮) 仙台厚生病院 呼吸器内科(菅原 俊一) 宮城県立がんセンター 呼吸器内科(福原 達朗) 山形県立中央病院 呼吸器内科(麻生 マリ) 東北大学病院 呼吸器内科(宮内 栄作) 弘前大学医学部付属病院 呼吸器内科(田中 寿志) 宮城厚生協会 坂総合病院 呼吸器内科(神宮 大輔) 諏訪赤十字病院 呼吸器内科(蜂谷 勤) 信州上田医療センター 呼吸器内科(吾妻 俊彦) 伊那中央病院 呼吸器内科(加藤 あかね) 長野県立信州医療センター 呼吸器内科(小坂 充) 長野松代総合病院 呼吸器内科(宮原 隆成)
研究代表者	主任施設の名称:北海道大学 研究責任者:畠中 豊
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 立石一成(信州大学医学部内科学第一教室・特任講師) 電話:0263-37-2631

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である北海道大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります、引き続き使わせていただくことがあります。